

主役はクラシック覇者・毒島誠 水面実相性なら瓜生正義、山崎郡



毒島誠



瓜生正義



山崎郡

ヤンV、山口剛は前回大会覇者。グランプリ戦士の馬場貴也や平本真之、井口佳典、宮地元輝、西山貴浩らも優勝戦線に絡んできそう。当地SG2V、60周年Vの実績がある瓜生正義、水面相性のいい山崎郡も侮れない。

桐生周年3Vの実績を誇る毒島誠が大本命となる。今年は3月の当地一般戦で完全Vを決め、翌節の戸田クラシックでは3年4か月ぶり8回目のSG優勝を飾った。その後、通算1500勝を達成。7月の津GII BR甲子園も優勝し、いい流れのまま後半戦に突入している。お盆開催は無念の途中帰郷となったが、今大会はファンの期待に応えるべく、万全の状態

展望

土屋智則は6月の尼崎グラチャンV、山口剛は前回大会覇者。エンジンには昨年未から使用。乗り手を選ばずに噴く32号機、6月のヴィーナナスSで福岡泉水Vの68号機ほか、22、31、36、50、51、60、64、72号機が有力10基だ。

レース場は阿左美沼の一角。水質は淡水、水面は標準的な広さだが、ピットから2Mまでの距離が長く、ピット離れの差が出やすい。チルトは1度まで使用可能。標高が高く、気圧は低めで、回転の上がりが悪い。近年のコース別1着率は①53.9%、②13.0%、③12.3%、④12.1%、⑤6.6%、⑥2.0%。イン1着率は昨年よりも約4%上昇し、全国平均に近くなっている。また、昨秋の前回67周年では節間全72R中、逃げの決まり手が57本もあった。

水面・モーター

エンジンは昨年未から使用。乗り手を選ばずに噴く32号機、6月のヴィーナナスSで福岡泉水Vの68号機ほか、22、31、36、50、51、60、64、72号機が有力10基だ。

今回の地元勢は少数精鋭。毒島を除き、土屋、椎名豊、関浩哉、久田敏之の4人は、桐生周年のタイトルをまだ獲っていない。土屋は昨年に続き2度目のSG優勝で意気があがり、初制覇へ機は熟している。椎名は7月の大村オーシャンカップ、8月の芦屋周年で連続優出を果たし、リズムアップに成功している。スタート力は元より、桐生でのエンジン出しにも長けており、最も活躍が期待できる。関は周年前に、主役として出場する当地ヤングダービーの一番があり、その結果次第で注目度が一気に上がりそう。地元で気合の乗りが一人倍の久田は、悲願のGI奪取に燃える。

今節のキモノ

2023年9月13日～9月18日

着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	○	③	山口 剛	3	08
2	◎	①	青木 玄太	1	05
3	△	④	峰 竜太	4	12
4	×	②	藤原啓史朗	2	06
5		⑥	吉田 拓郎	6	18
6		⑤	秋山 直之	5	20
2連単 ③-①			1610円	6番人気	まくり差し
3連単 ③-①-④			3590円	12番人気	



前回結果

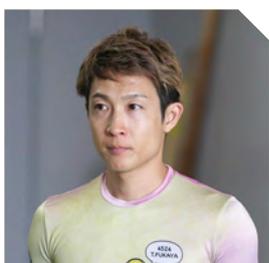
GI	#01	桐生	10/6~11
赤城雷神杯(68周年)			

予想 本誌	桐生	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
							勝率	優出	優勝
		太田 和美	大阪	69	6.50	↗	8.37	1	0
		武田 光史	福井	72	6.45		5.93	1	1
▲		守田 俊介	滋賀	74	8.22	↓	0.00	0	0
		原田 幸哉	長崎	76	7.03	↘	6.05	0	0
◎	○	瓜生 正義	福岡	76	7.61	↓	7.53	1	0
		重成 一人	香川	80	6.51		7.76	2	2
	▲	井口 佳典	三重	85	7.28	↓	7.24	1	0
△		森高 一真	香川	85	7.19	↓	7.89	1	0
		市橋 卓士	徳島	86	6.56	↗	0.00	0	0
		柳沢 一	愛知	86	6.86		7.78	1	0
		中野 次郎	東京	86	6.75		7.33	3	1
		杉山 正樹	愛知	87	6.70	↗	7.79	1	0
		君島 秀三	滋賀	89	6.26		5.42	1	0
		森定 晃史	岡山	90	6.86		6.57	0	0
		赤坂 俊輔	長崎	90	6.98	↘	5.50	1	0
	△	久田 敏之	群馬	91	7.00	↗	7.10	5	1
◎	○	山口 剛	広島	91	7.57	↑	7.88	1	1
○	◎	毒島 誠	群馬	92	7.65	↑	8.94	10	5
		岡 祐臣	三重	93	6.45	↗	6.81	3	0
▲	○	馬場 貴也	滋賀	93	7.34		8.21	0	0
		長田 頼宗	東京	93	6.66	↗	8.29	3	1
		古賀 繁輝	佐賀	94	7.22	↗	4.83	0	0
		岡村 仁	大阪	95	6.45	↗	7.00	0	0
	▲	平本 真之	愛知	96	7.03		0.00	0	0
▲		篠崎 元志	福岡	96	6.67	↗	0.00	0	0
		下條雄太郎	長崎	96	7.10		8.36	0	0
▲	▲	土屋 智則	群馬	97	6.73	↗	7.37	8	2
		山口 達也	岡山	97	7.04		7.32	2	1
	△	西山 貴浩	福岡	97	7.43		0.00	0	0
		松田 祐季	福井	98	6.60		0.00	0	0
		下出 卓矢	福井	99	6.69	↘	6.56	1	0
	△	宮地 元輝	佐賀	100	6.77	↗	5.33	0	0
		新田 泰章	広島	101	6.73	↘	6.21	0	0
△		篠崎 仁志	福岡	101	7.09	↓	5.27	0	0
		秋元 哲	埼玉	103	6.98	↘	6.02	2	0
		渡邊 和将	岡山	103	6.55		6.69	2	1
		中田 竜太	埼玉	104	6.47	↗	6.93	0	0
		佐藤 翼	埼玉	105	6.91	↗	7.00	1	0
		大上 卓人	広島	109	6.69		7.36	2	0
		永井 彪也	東京	109	6.58		7.00	1	1
		渡邊 雄朗	東京	112	6.77		6.06	2	1
		山田 祐也	徳島	112	6.76		0.00	0	0
▲	注	山崎 郡	大阪	112	6.61	↗	7.54	3	0
		石丸 海渡	香川	112	6.61		7.11	2	0
		佐藤 博亮	愛知	113	6.79		7.00	3	1
▲	○	椎名 豊	群馬	113	6.94		7.53	10	4
		春園 功太	三重	113	7.41	↘	5.54	0	0
		羽野 直也	福岡	114	6.85		7.50	0	0
		佐藤隆太郎	東京	115	7.46		5.93	2	0
▲		関 浩哉	群馬	115	7.47	↗	6.91	4	1
△		新開 航	福岡	118	6.66	↗	6.00	0	0
		宮之原輝紀	東京	118	8.13	↓	7.61	4	2

菊地孝平&深谷知博が二枚看板 前回覇者・峰竜太は4連続優出中



菊地孝平



深谷知博



峰竜太

地元ツートップの菊地孝平と深谷知博に期待がかかるのは言わずもがな。ただ、今年に入ってから浜名湖での成績は実に対照的だ。菊地は正月戦での優勝、その後4節いずれも優出(優勝・2着・4着・4着)。一方の深谷は同じく4節を消化して予選突破は2度で優出はゼロと物足りなさが残る。その辺を踏まえると、菊地が優勝候補の筆頭とみていいだろう。

遠征陣では峰竜太の存在感がひととき光る。こちらは21年のGI 68周年から当地で4連続優出中。しかも23年7月のGIIモーターボート大賞、今年1月のGI 70周年と連続V。今回も良機を手に入れば、一気に突っ走る可能性は十分に考えられる。

展望

現行モーターは4月16日が初使用。現時点でのエース格は12号機だ。7月の一般戦で齋藤達希がセット交換を施して気配一変。近況は特に行き足から伸びに力強さを感じさせる。それに続くのが62号機。7月に中辻博訓、谷川祐一と連続V。夏場に入り一気に好調モードへと突入した。これら2基に続くのが5号機。初下ろしからスランプなく力強い動きをみせる優等生だ。対して、初下ろしから連続優勝するなど脚光を浴びた19号機は勢いに陰り。すっかり並のモーターになった印象がある。

水面は季節の変わり目とはいえ、夏の名残の向かい風が基本。風はあまり強くなく、穏やかなコンディションが多い。

水面・モーター

参加メンバーで浜名湖巧者と言え、豊田健士郎が有名。前回1月の70周年では途中帰郷の憂き目に遭っただけに、リベンジあるのみだ。他では塩田北斗が当地で好実績を残す。22年以降の3節全てで優出。前回の6月一般戦では前回使用者(刑部亜里紗)のペラを触らずに走ってオール3連対で優勝を飾ったことは記憶に新しく、調整面のアドバンテージも大きい。

地元静岡勢では谷野錬志が面白い存在となる。8月のお盆レースでは2M逆転で待望のオール静岡初Vを飾った。今年は2月蒲郡東海地区選に3月住之江周年と2度のGI優出。GI初優勝への機は熟したと言っても過言ではない。(MOCH)

今節のキモ

GI #06 浜名湖 10/3~8

浜名湖賞(71周年)

予想	選手名	支部	期	勝率	近況	当地			
本誌	浜名湖					勝率	優出	優勝	
△	松井 繁	大阪	64	7.30	↗	7.36	1	0	
	濱野谷憲吾	東京	70	7.22		6.71	1	0	
	石渡 鉄兵	東京	74	6.66		8.23	1	1	
	辻 栄蔵	広島	74	6.68		6.73	0	0	
△	徳増 秀樹	静岡	75	6.59	↗	7.54	12	6	
	魚谷 智之	兵庫	76	7.26		6.00	0	0	
	吉川 元浩	兵庫	79	7.63		6.38	1	0	
○	▲	白井 英治	山口	80	7.37	↑	7.12	1	0
▲	▲	池田 浩二	愛知	81	8.08	↑	7.24	1	0
		寺田 祥	山口	81	7.20		6.06	0	0
		中澤 和志	埼玉	82	7.64	↓	7.05	2	0
		坪井 康晴	静岡	82	7.16		7.04	6	0
▲	◎	菊地 孝平	静岡	82	7.58		7.77	9	3
		齊藤 仁	東京	83	6.85		6.53	3	0
		中島 孝平	福井	84	6.84	↘	7.61	0	0
△		笠原 亮	静岡	84	7.06	↓	7.10	8	2
		田村 隆信	徳島	85	6.66	↘	5.74	0	0
		丸岡 正典	大阪	85	6.57	↘	8.50	1	1
		萩原 秀人	福井	86	7.06		6.19	0	0
		福来 剛	東京	87	6.98		6.80	0	0
		枝尾 賢	福岡	89	7.36		7.91	2	0
		吉田 拓郎	岡山	90	6.56	↑	7.65	1	0
		福田 浩二	兵庫	94	7.08		7.46	2	0
		岡崎 恭裕	福岡	94	6.88		0.00	0	0
	注	山田 哲也	東京	95	6.70		6.79	1	0
◎	○	峰 竜太	佐賀	95	8.01	↑	9.09	4	2
▲	▲	谷野 錬志	静岡	96	7.12		7.09	11	3
		池永 太	福岡	97	7.10		6.12	1	0
		西村 拓也	大阪	98	6.27	↑	0.00	0	0
		船岡洋一郎	広島	98	6.58	↗	7.00	0	0
		和田 兼輔	兵庫	100	6.27		6.54	1	0
△		片岡 雅裕	香川	101	6.58		5.88	1	1
		北野 輝季	愛知	101	6.62	↑	6.15	1	0
		桑原 悠	長崎	102	6.82	↗	5.44	1	0
		島田 賢人	埼玉	102	6.90		7.18	0	0
▲	○	深谷 知博	静岡	103	6.88		7.41	7	3
		黒井 達矢	埼玉	103	6.73	↗	6.96	1	0
△		塩田 北斗	福岡	105	7.16		8.10	3	1
▲	△	磯部 誠	愛知	105	7.26		7.29	2	1
▲	注	島村 隆幸	徳島	109	7.15		0.00	0	0
		丸野 一樹	滋賀	109	7.18		6.95	1	0
		村上 遼	長崎	110	6.72		5.63	0	0
△		上條 暢嵩	大阪	110	7.76	↗	0.00	0	0
		安河内 将	佐賀	111	6.83		6.33	0	0
	特注	中村 晃朋	香川	111	6.63		6.65	1	0
		今泉 友吾	東京	112	6.56	↗	4.89	0	0
△		藤原啓史朗	岡山	112	7.28		7.32	1	1
		松井 洪弥	三重	114	6.89		5.76	1	0
		松山 将吾	滋賀	114	6.34	↓	6.00	0	0
△	△	豊田健士郎	三重	115	6.65	↗	7.50	4	2
		板橋 侑我	静岡	118	6.43	↓	6.12	5	1
		若林 義人	静岡	122	6.36		5.89	3	1

2024年1月25日~1月30日

着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	◎	①	峰 竜太	1	03
2	○	③	菊地 孝平	3	05
3		⑤	秦 英悟	5	09
4	×	④	濱野谷憲吾	4	09
5	△	②	上野真之介	2	05
6		⑥	渡邊 和将	6	14
2連単 ①-③			280円	1番人気 逃げ	
3連単 ①-③-⑤			1250円	4番人気	



地元エース・馬場貴也が4大会ぶりV奪取へ 難解なパワー相場はチェックは不可欠！



馬場貴也



椎名豊



藤原啓史朗

4大会ぶりのVを目指すびわこエース・馬場貴也を筆頭に峰竜太、石野貴之、瓜生正義、白井英治、平本真之、篠崎元志ら7人のゴールデンリーサーが集結。昨年大会に続くタイトル連覇が懸かる椎名豊をはじめ、太田和美、徳増秀樹、魚谷智之、寺田祥、森高一真、吉田拓郎、長田頼宗、岡崎恭裕、土屋智則、片岡雅裕らもSG覇者の存在感を示したいところだ。昨年当地GII戦を8連勝完全Vで制した藤原啓史朗、同じく当地GIIホルダーの大上卓人もV戦線を盛り上げそう。当地とは好相性で知られるのが前田将太と木下翔太。守田俊介、丸野一樹も2回目の地元周年タイトルを目指して気合の走りを披露する。

展望

季節ごとに変動する琵琶湖の水位は4〜5月の春がピークで、この時期は海水の場で例えるなら干潮の状態。多くの選手が苦戦する特有のうねりの影響は水位が高い時期に比べると小さくなる。かつてインが弱かった時代のびわこならセンター、アウト勢の出番が増えるのがパターンだった。ただ、現在はイン艇が主導権を握るレースが基本。昨年の10月に開催された前回大会ではイン逃げが節間で53回、1着率なら73・6%だった。今回もインを軸に、パワーの裏付けをもった選手を絡めていく舟券が正解だろう。現行モニターは4月末のGWシリーズが初おろし。詳細は「今節のキモ」のコーナーを。

水面・モニター

例年のパターンと同じく断然のエース機は存在せず、上位の何基かがエース級グループを形成している。びわこの良機は①元来の好素性機、②中間整備で急上昇したモニターの2種類が混在。最高2連対率の62を筆頭に16、44、48、57が①の代表格だ。②は17、28、33、50、61だが、17はお盆戦を終えた段階で2連対率はわずか16・1%。新たな急上昇機が出現する可能性もあるだけに、スポーツ紙等での情報チェックは不可欠だろう。選手に関しては期待も込めて松山将吾に注目したい。昨年と今年で特別戦は4回のファイナル進出。地元水面で悲願の特別タイトル初戴冠を成し遂げる場面は十分あるはずだ。(クラ)

今節のキモ

GI	#11	びわこ	9/12~17
びわこ大賞(72周年)			

予想 本誌	びわこ	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
							勝率	優出	優勝
		太田 和美	大阪	69	6.50	↗	7.31	3	1
		石渡 鉄兵	東京	74	6.66		7.25	2	1
▲	△	守田 俊介	滋賀	74	8.22	↓	7.59	7	2
		徳増 秀樹	静岡	75	6.59	↗	6.44	0	0
		魚谷 智之	兵庫	76	7.26		6.61	0	0
	△	瓜生 正義	福岡	76	7.61	↓	7.27	2	1
▲	△	白井 英治	山口	80	7.37	↑	6.56	0	0
△		深井 利寿	滋賀	81	6.51		6.31	9	1
		寺田 祥	山口	81	8.11		6.33	0	0
		中澤 和志	埼玉	82	7.64	↓	6.04	0	0
		横澤 剛治	静岡	82	6.36	↘	6.63	0	0
		須藤 博倫	埼玉	83	6.68	↘	6.49	1	0
		古結 宏	兵庫	84	7.15		6.43	2	0
△		森高 一真	香川	85	7.19	↘	7.33	0	0
		杉山 正樹	愛知	87	6.70	↗	6.36	0	0
		福来 剛	東京	87	6.98		8.55	2	1
		君島 秀三	滋賀	89	6.26		6.68	5	0
		吉田 拓郎	岡山	90	6.56	↑	7.10	0	0
◎	○	石野 貴之	大阪	90	6.86		7.33	1	0
△		久田 敏之	群馬	91	7.00	↗	7.16	0	0
		吉川 喜継	滋賀	92	6.39		6.58	4	0
		大峯 豊	山口	92	7.24		7.28	2	0
◎	◎	馬場 貴也	滋賀	93	7.34		7.93	8	5
	×	長田 頼宗	東京	93	6.66	↗	8.33	0	0
		古賀 繁輝	佐賀	94	7.22	↗	6.42	0	0
	×	岡崎 恭裕	福岡	94	6.88		7.40	1	1
○	◎	峰 竜太	佐賀	95	8.01	↑	9.17	5	3
○	○	平本 真之	愛知	96	7.03		8.15	4	1
		谷野 錬志	静岡	96	7.12		7.05	2	1
	×	篠崎 元志	福岡	96	6.67	↗	6.67	1	0
▲	×	土屋 智則	群馬	97	6.73	↗	4.78	0	0
▲		西山 貴浩	福岡	97	7.43		5.65	0	0
△		是澤 孝宏	滋賀	98	6.31	↓	6.10	6	2
		西村 拓也	大阪	98	6.27	↑	6.66	1	0
		船岡洋一郎	広島	98	6.58	↗	7.93	3	1
		坂元 浩仁	愛知	99	6.70		6.73	1	0
	×	片岡 雅裕	香川	101	6.58		7.14	2	0
		山田 康二	佐賀	102	7.12	↑	7.38	2	0
△		前田 将太	福岡	102	7.45	↓	8.68	2	2
		渡邊 和将	岡山	103	6.55		6.42	0	0
		佐藤 翼	埼玉	105	6.91	↗	6.73	0	0
		木下 翔太	大阪	108	6.60	↗	6.38	2	1
		大上 卓人	広島	109	6.69		7.80	2	0
△		丸野 一樹	滋賀	109	7.18		7.01	7	3
		木村 仁紀	滋賀	111	6.58		6.48	6	1
△		山崎 郡	大阪	112	6.61	↗	7.16	2	0
	注	藤原啓史朗	岡山	112	7.28		7.74	1	1
		竹田 和哉	香川	112	6.73		6.98	3	1
△		椎名 豊	群馬	113	6.94		7.61	3	1
		和田 拓也	兵庫	113	6.61		6.09	0	0
	注	松山 将吾	滋賀	114	6.34	↓	6.45	4	2
		仲谷 颯仁	福岡	115	6.63	↗	7.00	2	0



2023年10月1日~10月6日					
着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	◎	①	椎名 豊	1	15
2	○	②	篠崎 元志	2	12
3	×	③	平本 真之	3	11
4		⑤	中島 孝平	5	09
5		⑥	船岡洋一郎	6	13
6	△	④	菊地 孝平	4	16
2連単 ①-②			440円	1番人気	逃げ
3連単 ①-②-③			1270円	2番人気	

峰竜太が4年半ぶりの当地参戦 白井英治&寺田祥の両雄が迎え撃つ



峰竜太



白井英治



寺田祥

年に一度の祭典「徳山クラウン争奪戦」が9月24日から行われる。注目度ナンバーワンは約4年半ぶりの当地参戦となる峰竜太だ。浜名湖周年、芦屋九州地区選で優勝して今年すでにGIでは2V。当地は出走機会こそ少ないが、走れば好成績を残している。グランプリTR2ndスタートを狙って獲得賞金アツプを目指す戦いに注目だ。地元勢は白井英治、寺田祥の両雄が迎え撃つ。白井は7月に、寺田は8月に当地を走っていてともに優勝と下見は万全。地元元タイトル流出を防ぐ。また、ベテラン多めのメンバー構成で、今節では「若手」に位置する上條暢嵩、中村晃朋、藤原啓史朗、松山将吾が注目候補だ。

展望

休催明けの6月に新モーターに衣替え。まだ2か月ちょっとで判断は難しい。それでも安定して好ムードなのが「71」と「72」。どちらも総合的に強めの動きで安定感がある。7月後半から8月にかけて上向いたのが「35」「39」「51」。いずれも出足強力タイプで、接戦で威力を発揮した。ほか、「27」「33」「42」「16」も好調だ。

水面は全国トップのイン天国。この時期は緩やかなホーム追い風で水面が荒れることも少なく逃げ連発となる日が多い。そもそも季節に関係なくインが強いので実力接近のGIならなおのことイン有利だ。ただ、たまに強めの追い風となることもあり、その時は差しが狙い目。

水面・モーター

やはりなんとんでも地元の白井と寺田に期待。白井は昨年の10Vから一転、今年の優勝は7月徳山での1度ののみ。本人も「自分でも信じられない」と話した不調ぶり。寺田も下関と徳山で2度のVはあるが、来年のSGクラシックの出走は現時点では厳しい。白井とともに地元周年で権利獲得を目指す。

注目は整備。流行りのセット交換は徳山でも乱発されているが、良くなったケースとあまり変わらないケースが半々。整備巧者が揃うこともあり、セット交換だけでなく、そのほかの整備によりシリーズ中の相場変動も大いにありそう。整備状況と機力変化はいつも以上に要チェックだ。

(日刊・測上)

今節のキモ

GI	#18	徳山	9/24~29
徳山クラウン争奪戦 (71周年)			

予想	選手名	支部	期	勝率	近況	当地			
本誌	若松					勝率	優出	優勝	
△	松井 繁	大阪	64	7.30	↗	6.77	0	0	
	濱野谷 惠吾	東京	70	7.22		6.56	0	0	
	辻 栄蔵	広島	74	6.68		7.14	2	0	
	徳増 秀樹	静岡	75	6.59	↗	6.83	1	0	
	魚谷 智之	兵庫	76	7.26		7.44	1	1	
	吉川 元浩	兵庫	79	7.63		7.23	1	0	
◎	○	白井 英治	山口	80	7.37	↑	8.58	9	7
○	△	池田 祥二	愛知	81	8.08	↑	8.13	1	0
▲	○	寺田 浩	山口	81	81	7.20	7.77	4	1
		中澤 和志	埼玉	82	7.64	↓	0.00	0	0
		坪井 康晴	静岡	82	7.16		8.44	2	1
▲	△	菊地 孝平	静岡	82	7.58		8.54	3	2
		谷村 一哉	山口	82	6.35	↘	7.08	7	1
	△	齊藤 仁	東京	83	6.85		5.75	0	0
		中島 孝平	福井	84	6.84	↘	7.00	0	0
		笠原 亮	静岡	84	7.06	↓	0.00	0	0
		田村 隆信	徳島	85	6.66	↘	6.11	1	1
		丸岡 正典	大阪	85	6.57	↘	7.68	1	0
		萩原 秀人	福井	86	7.06		7.59	3	1
	△	原田 篤志	山口	86	6.46		6.99	7	0
▲		吉村 正明	山口	88	6.77		6.55	1	0
	▲	枝尾 賢	福岡	89	7.36		7.15	1	0
		松村 敏	福岡	92	7.29	↑	8.08	4	1
△		大峯 豊	山口	92	7.24		7.26	8	1
		竹田 辰也	山口	92	6.78	↓	7.35	12	4
		長尾 章平	山口	93	6.45		5.77	1	0
		長田 頼宗	東京	93	6.66	↗	5.64	0	0
		稲田 浩二	兵庫	94	7.08		6.67	0	0
	▲	岡崎 恭裕	福岡	94	6.88		8.11	1	0
○	◎	峰 竜太	佐賀	95	8.01	↑	0.00	0	0
△		柳生 泰二	山口	97	7.16		7.50	5	3
		池永 太	福岡	97	7.10		7.04	2	1
		西村 拓也	大阪	98	6.27	↑	7.00	2	0
△		船岡洋一郎	広島	98	6.58	↗	6.22	0	0
	▲	片岡 雅裕	香川	101	6.58		7.53	2	0
		河合 佑樹	静岡	102	7.60	↘	7.93	1	0
		桑原 悠	長崎	102	6.82	↗	6.55	1	0
△		上野真之介	佐賀	102	8.06	↗	6.63	0	0
▲	▲	深谷 知博	静岡	103	6.88		7.12	1	0
		黒井 達矢	埼玉	103	6.73	↗	0.00	0	0
		塩田 北斗	福岡	105	7.16		6.11	1	0
		村岡 賢人	岡山	105	6.80		6.27	1	0
▲		磯部 誠	愛知	105	7.26		10.00	2	1
		森野 正弘	山口	106	6.90		6.83	5	2
		木下 翔太	大阪	106	6.60	↗	7.45	2	1
▲		島村 隆幸	徳島	109	7.15		7.22	0	0
		丸野 一樹	滋賀	109	7.18		7.67	3	1
		村上 遼	長崎	110	6.72		5.22	0	0
△		上條 暢嵩	大阪	110	7.76	↗	6.79	1	0
		中村 晃朋	香川	111	6.63		6.47	2	0
△		藤原啓史朗	岡山	112	7.28		7.73	4	0
		松山 将吾	滋賀	114	6.34	↓	5.25	0	0

2023年11月2日~11月7日					
着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	◎	①	菊地 孝平	1	04
2		⑤	丸野 一樹	5	12
3	×	④	吉田 俊彦	4	12
4	○	②	今垣光太郎	2	06
5		⑥	辻 栄蔵	6	17
6	△	③	片岡 雅裕	3	09
2連単 ①-⑤			690円	4番人気 逃げ	
3連単 ①-⑤-④			4140円	16番人気	



前回結果

毒島誠をはじめ、賞金上位がズラリ 低迷する石野貴之の奮起にも期待



毒島誠



石野貴之



羽野直也

逆にまだ賞金ランクで下位に低迷している石野貴之の奮起にも期待したいところ。当地ではGI、GIIを1回ずつ制しており相性はいい。地元福岡勢は13人。まだ来年の当地クラシックの権利がない羽野直也や前田将太は目の色が違うはず。

SG覇者が18人、GI覇者が33人という顔ぶれ。当地のSG、GI覇者も全部で10人が参戦。今年の賞金ランク上位選手はトップの毒島誠を筆頭に土屋智則、馬場貴也、定松勇樹、宮地元輝、山口剛、平本真之、瓜生正義、西山貴浩らが登場する。メモリアルとダービーの間の開催だが、グランプリ出場を意識している選手たちがやはり主導権を握るはず。

展望

モーターは昨年11月から使用されているが、現モーターにエース機はない。例年通り、中間整備が頻繁に行われており2連対率は全く参考にならない。今年の特徴はセット交換で上昇したモーターがかなり多いこと。話題となった尼崎とは違って旧型なのだが、なぜか夏場に入ってからセット交換したモーターに上昇機が非常に多い。直前節までセット交換は実施されるはずなので、とにかく直近の動きをチェックして欲しい。

レース傾向に変化はなく、インが強いかどうかは風の強さ次第。そして追い風の時にレースのカギを握るのが3コース。また、お盆戦からチルトは3度まで使用可能になっている。

水面・モーター

昨年はお盆戦からチルトは3度まで使用可能になっている。

昨年はお盆戦からチルトは3度まで使用可能になっている。

今節のキモノ

2023年11月3日～11月8日					
着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	○	②	長田 頼宗	3	11
2	△	④	新開 航	4	07
3		⑤	前田 将太	5	08
4		⑥	萩原 秀人	6	11
5	◎	①	深谷 知博	1	12
6	×	③	湯川 浩司	2	22
2連単 ②-④			2350円	7番人気 まくり	
3連単 ②-④-⑤			6990円	24番人気	



前回結果

GI
#20
若松
9/27～10/2

全日本覇者決定戦 (72周年)

予想 本誌	若松	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
							勝率	優出	優勝
		太田 和美	大阪	69	6.50	↗	6.44	1	0
		守田 俊介	滋賀	74	8.22	↓	7.11	0	0
		原田 幸哉	長崎	76	7.03	↘	7.45	3	1
▲	○	瓜生 正義	福岡	76	7.61	↓	7.37	6	0
		重成 一人	香川	80	6.51		6.30	1	0
▲	△	井口 佳典	三重	85	7.28	↓	7.37	4	2
	注	森高 一真	香川	85	7.19	↘	6.92	2	0
		市橋 卓士	徳島	86	6.56	↗	5.67	0	0
		柳沢 一	愛知	86	6.86		5.23	0	0
		中野 次郎	東京	86	6.75		6.22	0	0
		君島 秀三	滋賀	89	6.26		6.09	0	0
○	△	石野 貴之	大阪	90	6.86		6.32	0	0
		赤坂 俊輔	長崎	90	6.98	↘	6.75	2	1
		久田 敏之	群馬	91	7.00	↗	7.32	2	1
▲	◎	山口 剛	広島	91	7.57	↑	7.60	0	0
○	◎	毒島 誠	群馬	92	7.65	↑	7.62	1	0
▲	○	馬場 貴也	滋賀	93	7.34		7.85	1	1
		今井 貴士	福岡	94	6.38	↗	6.94	7	2
		古賀 繁輝	佐賀	94	7.22	↗	8.67	0	0
		岡村 仁	大阪	95	6.45	↗	7.00	0	0
	×	平本 真之	愛知	96	7.03		6.31	1	1
	×	篠崎 元志	福岡	96	6.67	↗	6.94	2	0
	注	下條雄太郎	長崎	96	7.10		6.58	1	0
△	×	土屋 智則	群馬	97	6.73	↗	0.00	0	0
		山口 達也	岡山	97	7.04		6.43	1	0
◎	△	西山 貴浩	福岡	97	7.43		7.46	9	2
▲	×	宮地 元輝	佐賀	100	6.77	↗	6.85	3	1
		新田 泰章	広島	101	6.73	↘	7.26	2	1
		篠崎 仁志	福岡	101	7.09	↓	6.82	2	1
	△	前田 将太	福岡	102	7.45	↓	8.25	8	3
△		古澤 光紀	福岡	103	6.49	↗	6.75	2	0
		渡邊 和将	岡山	103	6.55		6.76	2	0
		岡村 慶太	福岡	104	6.83	↗	6.83	5	0
		中田 竜太	埼玉	104	6.47	↗	7.08	2	0
		佐藤 翼	埼玉	105	6.91	↗	6.86	1	0
		大上 卓人	広島	109	6.69		6.89	2	0
		永井 彪也	東京	109	6.58		4.67	0	0
		白神 優	岡山	110	6.47		6.07	1	0
△		高倉 和士	福岡	111	7.51		6.59	6	0
		竹井 貴史	福岡	111	6.76		6.64	3	0
		山田 祐也	徳島	112	6.76		6.13	0	0
▲		山崎 郡	大阪	112	6.61	↗	6.00	1	1
		石丸 海渡	香川	112	6.61		6.40	1	0
		佐藤 博亮	愛知	113	6.79		5.94	1	0
		春園 功太	三重	113	7.41	↘	7.60	2	1
▲	△	羽野 直也	福岡	114	6.85		8.02	7	4
	注	佐藤隆太郎	東京	115	7.46		8.40	1	1
△	×	仲谷 颯仁	福岡	115	6.63	↗	7.31	6	2
		吉川 貴仁	三重	118	7.49	↘	0.00	0	0
	×	新開 航	福岡	118	6.66	↗	7.36	5	2
	注	宮之原輝紀	東京	118	8.13	↓	6.86	2	0
△	穴	定松 勇樹	佐賀	125	7.26		7.57	1	1